

日本CHRコンサルティング株式会社 ニュースレター

CHR News Letter



- ▶ 12月開催決定！CHRセミナーのご案内
- ▶ 「メンタルヘルス情報交換会」レポート
- ▶ 社会のココロ【新コーナー】
- ▶ ～心が楽になる～MBA禅【新コーナー】
- ▶ メンタルヘルスQ&A募集

2011年度
第2回

CHRメンタルヘルスセミナー

臨床法学者が出す処方箋

～きっと解決、職場のメンタルヘルス課題～

日本で唯一のメンタルヘルス法務の専門家が、裁判所の考え方と共に、
現場課題に応じた処方箋をお示しします。

こんな疑問を感じる人事担当者様に
おすすめです。

- メンタルヘルス不調者には
どのような配慮が必要？
- 休職、復職の際会社と
本人の希望が異なる場合は？
- 復帰後、業務がスムーズに
進んでいるかわかりません。
- 不調者対応で
会社が訴えられるのは
どのような時でしょうか。

日時

2011年 **12月8日(木)**
16:30-19:00 (開場:16:00)

会場

ハービスENT 貸会議室
大阪市北区梅田2-5-25
(ハービスENT9階)
TEL:06-6343-7350

参加費

3,000円

・CHR会員様は無料・当日受付で受領

お申し込み方法

●webフォーム
<http://www.chr.co.jp/seminar201112>

●お電話 **06-6948-8111**

お申し込み締切

2011年 **12月6日(水)**

第1部

16:30-18:00

基調講演

知らなかった！では済まない、 メンタルヘルス法務の3原則

日本で唯一の
メンタルヘルス
法務専門家



講師

近畿大学法学部
准教授 三柴 丈典 氏

【講師プロフィール】

一橋大学大学院博士後期課程修了。厚生労働省労働政策審議会安全衛生分科会公益代表委員、同職場におけるメンタルヘルス対策分科会委員などを歴任。

著書に、『裁判所は産業ストレスをどう考えたか』『産業医が法廷に立つ日』(労働調査会)など。

弁護士として労働事件、医療事件を取扱った経験ももつ。

第2部

18:10-18:50

討議

基調講演をふまえて

パネラー

大阪ガス株式会社 統括産業医

岡田 邦夫 氏

医)渡辺クリニック 院長

日本CHRコンサルティング株式会社 会長

渡辺 洋一郎 氏

第3部

18:50-19:00

質疑応答

ご参加者様からのご質問にお答えいたします。

メンタルヘルス情報交換会&食事会 を開催いたしました！



2011年9月27日(火)

CHR会員企業の人事労務担当の皆様をご招待し、メンタルヘルス情報交換会&食事会を開催しました。CHR会長で、精神科医師の渡辺洋一郎先生と、弊社から産業医契約をお願いしている労働衛生コンサルタントをお招きし、会員の皆様が日頃感じているメンタルヘルスに関するお悩みなどを気軽に相談していただける場として感謝を込めて開催いたしました。

皆様からのギモンをピックアップ！

1 部下にメンタル的な負担がかかると思うと
上司が部下に指導できない

Q パワハラと受け止められる心配がある

必要な注意はしなければならない。
逆に注意しないと黙認とされるおそれがある。

Q 本人のメンタル耐性は問われないのか

もちろん本人のメンタル耐性は問題になるが、
人格を否定するような言葉は厳に避ける必要がある。

2 就業規則通りに出勤できても
業務遂行能力が低い場合の復職

Q メンタルヘルスに対応した就業規則

就業規則で過度に縛ってしまうと、逆に企業の自由度を失うことにもつながる。復職時にどこまで業務遂行能力を求めるのかを決定することも一つ。

Q 復職プログラムの例

復職プログラムは直接業務、間接業務によっても異なる。
また、就業規則上で短時間勤務が認められるか等によっても異なるので、個別に検討するしかない。

3 ラインケア研修を行う場合の
指導ポイント

Q 社内スタッフで研修を行うメリット

社内スタッフは社内の状況が分かっているので実情に応じた指導がしやすい反面、なあなあになってしまう危険もある。

Q 指導のポイント

指導のポイントは実例をふまえて陥りやすい危険を紹介することや、過去の判例を参考にすることなど、参加型研修を試みるのがより有益になることが多い。

ズバリ、回答！人事のお悩み「即答ミニ講義」

皆様から寄せられたメンタルヘルスに関するご質問に対して、2人の先生方からアドバイス。

パワハラや、ラインケア研修のポイント、休業・復職についてなど、参加者の皆様からその場でご質問、時間が足りないほどの内容となりました。

Topics

1

サプライズゲスト！
元祖「産業医」登場！

CHR顧問の阿部源三郎

先生が来られました！阿部先生は御年92歳！元々、海軍軍医で産業医という名前がまだなかった時代から、日本の産業保健界を引っ張ってこられた先生の体験談や、お年を感じさせない元気なお姿に、皆さんの一番話題の中心となりました。実は主催者側も来られることを知らず、本当の意味でのサプライズゲストとなりました。(笑)



Topics

2

適性診断

「ASK」を体験！

メンバーの適性と組み合わせによりチーム力を分析診断する「ASK」組織診断を実際に体験していただきました。まず、10分ほどの個人適性検査を受けて頂き、行動と性格パターンがグラフに。診断終了後、体験された方からは、「あー当たってる！」とのお声。人事の適性配置の参考にしていただけるツールです！



参加者の声 お越しいただいた皆様からのご意見・ご感想

『よかった』こと

- 「抱えている問題に対し、先生方から一般的な意見ではなく個別の意見をいただいたことです。」…R社ご担当様
- 「先生方に実際に話を聞いてもらうことができ、産業医の先生方の存在がより身近に感じられたこと」…T社ご担当様
- 「先生陣のご指摘も遠慮なくストレートに表現してもらったので、そこもいいと思いました。」…S社ご担当様
- 「困っているのは当社だけではなくとわかったこと」…T社ご担当様

『悪かった』こと

- 「各テーマごとに質問の時間を設けて皆さんの聞きたいこともシェアできるようにすると、より学びが深いように思います。」…S社ご担当様
- 「話ができる時間が短かったです。」…S社ご担当様
- 「他テーブルの方と会話が出来なかったため、立食形式であれば、交流がもっとスムーズに出来るように思います。」…Y社ご担当様

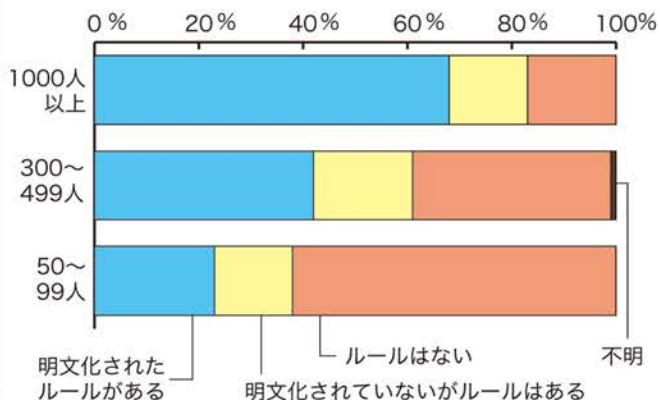
アンケートへのご協力
ありがとうございました！

データから読み解く
メンタルヘルスの
取り組み

社会のココロ

心の不調 休職後に復職「ルールなし」57%

【メンタルヘルス上の理由で休職した人の復職ルールの有無】



心の不調で休職する人が増えるなか、復職者への対応が新たな課題になっている。メンタルヘルス上の理由で休職した後に職場復帰した人がいる事業所のうち、労働時間を柔軟にするなどの復帰ルールが「ない」のは57%だった。事業所の規模別にみると、大規模なほどルールの整備が進み、小規模事業所の遅れが目立つ。1000人以上の事業所で復帰ルールがないのは15%にとどまる一方、300人未満の事業所では半分以上が職場のルールを持たず、その都度相談していた。

厚生労働省の労働安全衛生基本調査によると、メンタルヘルス上の理由で2010年10月までの1年間に連続1ヶ月以上、休職した人がいる事業所の割合は5.9%だった。1ヶ月以上の休職から職場復帰した人がいる事業所の割合は全体の3.7%。ただ1000人以上の事業所では85%に達し、休職・復帰が珍しくなくなっていることがうかがえる。

(日本経済新聞 平成23年9月11日 記事より)

「夢実現のための
ステップに感じる」
&
「小さく感じる」
今の悩みは
長期的な目標があれば、

『ストレスの相対性 &
レバレッジ』論



募集メンタルヘルス Q&A

なかなか聞けない、どこに相談したらわからないといった職場のメンタルヘルスの疑問にお答えいたします。
soudan@chr.co.jp まで、ご相談内容をお送りください。こちらのコーナーで無償にてご回答いたします。企業情報、個人情報などはふせてご紹介いたしますのでご安心ください。

【編集後記】
読者の皆様、こんにちは。先日、通勤路で良い香りがすると思ったら、キンモクセイがオレンジ色の小花をたくさん咲かせていました。「キンモクセイ」は秋の季節でもあり、排気ガスなどの大気汚染に敏感なんだそうです。大気汚染で芽が付かなくなったり、花の香りが弱くなることもあるということ、良い香りを放っていたことにちょっとほっとしました。この時期は夜空に浮かぶ月もとてもキレイです。お仕事でご帰宅が遅い方も帰り道、一度空を見上げてみてください。体調を崩しやすい時期でもありますが、出来る予防はしっかりと毎日元気にお過ごしください。ニュースレターに関するご意見、ご感想などは非下記メールアドレスまでお寄せくださいませ。

(島 徳子:info@chr.co.jp)